

## 編集後記

『人間科学研究』創刊号をお届けします。平成19年4月、人間科学部開設と同時に、人間科学会が発足しました。創刊号への投稿を呼び掛けたところ、こども学科9件、スポーツ学科3件の研究成果が寄せられました。執筆者は現職の専任教員を始め、その共同研究者や次年度赴任予定の専任教員からなります。分野は、言語・心理・福祉・保育・音楽・環境・教育、剣道・野球・陸上と多岐にわたっています。UNIVERSITYとして経済学部の人文学部が発行する『論集』とは別の切り口から、様々な学問領域について教育・研究に従事する姿勢をこの誌面でお伝えできればと望んでいます。将来的には、学生のフィールド演習や卒業研究の成果報告も掲載して学芸的な色彩を出していきたいと思います。

「人間力」という言葉が流行っています。文部科学省は「人間力向上のための教育改革の推進」を掲げ、「国家社会の基盤は人材であり、主要先進諸国は、国家の命運をかけて教育改革に力を入れています。時代や社会の変化の中で、我が国が様々な課題を乗り越えて真に豊かで教養のある国家としてさらに発展していくためには、切磋琢磨しながら新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい日本人の育成を目指し、国家戦略として、教育のあらゆる分野において人間力向上のための教育改革を一層推進していく必要があります」と謳っています。内閣府の『人間力戦略研究会報告書』は「Ⅱ 人間力の定義」で「人間力に関する確立された定義は必ずしもないが、本報告では、『社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』と定義したい」と述べています。また、鳥取大学では『人間力』を、『知力』『実践力』『気力』『体力』及び『コミュニケーション力』の5つの構成要素から成り立つ総合的かつ人格的能力として定義する」としています。いずれにせよ、国家有為の人材あるいは社会的存在として自立できる人間を求めており、それは教育によってしか実現され得ないことは疑いありません。

私は、「心豊かで」にまず必要なのは想像力だと考えます。例えば、自分の明るい未来を思い描き、人生の目標や夢を実現した自分を想像する。物語を読んで、登場人物の気持や場面を想像する。想像力によって他者への思い遣りや異文化理解も生まれるのではないのでしょうか。人間科学会発足記念講演・角野栄子先生「魔法はひとつ」でも「誰でもひとつ持っている魔法とは想像力である」旨を強調されました。

人間科学とは「人間とは何か」「人間には何ができるか」を探究する学問ですが、本学会では特に、スポーツヒーローへの憧れ、こどもの成長発達への眼差しを大切に、想像力が創造性に結び付き、人間力が培われるような活動を展開していきたいと願っております。

誕生間もない学会ですので、皆様にはご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

2008年3月吉日

編集委員長 馬 場 治

《投稿された論文等に関する著作権は基本的に人間科学会に帰属します》